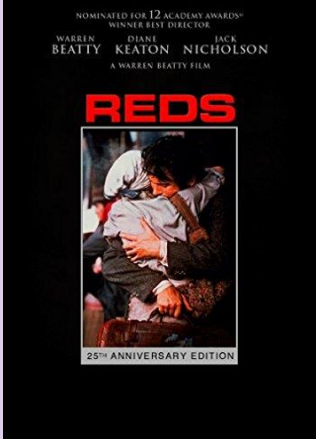


『レッズ』 原題 <i>Reds</i> 1981年		執筆：清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督 ウォーレン・ベイティ/ 脚本 ウォーレン・ベイティ、トレヴァー・グリフィス/ 製作 ウォーレン・ベイティ/ 製作総指揮 サイモン・レルフ、デデ・アレン/</p> <p>キャスト：ウォーレン・ベイティ：ジョン・リード/ ダイアン・キートン：ルイズ・ブライアント/ ジャック・ニコルソン：ユージン・オニール/ エドワード・ハーマン：マックス・イーストマン/ イエジー・コジンスキー：グリゴリー・ジノヴィエフ/ ポール・ソルヴィノ：ルイス・フレイナ/ モーリン・ステイプルトン：エマ・ゴールドマン/ ジーン・ハックマン： ピート/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	195分	
ストーリー	<p>1915年のアメリカは第一次大戦参戦を表明。ジャーナリストのジョン・リードは、労働者同盟の集会に参加して政治意識に目覚める。リードは女性解放運動家のルイズ・ブライアントと恋に落ち、ルイズは夫を捨ててリードと同棲するが、劇作家ユージン・オニールとも関係を持つ。三角関係に悩んだリードはルイズを妻にして、労働革命を学ぶためにロシアに渡る。帰国後ロシア革命を体験したリードは著書『世界を震撼させた10日間』を発表して、話題になる。リードはアメリカの社会党の改革に乗り出すが、行きづまり、封鎖中のロシアに再びわたるが、帰国途上でフィンランド政府によって拘置される。心配するルイズはオニールの助けを得てフィンランドに密入国するが、リードは釈放されて一足先にロシアに行き、すれ違いになる。ロシアでルイズは、知人のアメリカ人アナキストのエマ・ゴールドマンの手引きでリードと再会するが、リードは病に倒れ、アメリカに戻ることなくロシアで没する。</p>	
時代設定	第一次世界大戦さなかの1915年～1920年。	
場所	アメリカのニューヨーク(特にグリニッジ・ヴィレッジ)、プロヴィンスタウン、ワシントン、シカゴ、ロシアのペテルスブルグとモスクワ、フィンランド。	

社会背景	アメリカでは共産主義に対する恐怖が広がっていた。1917年4月アメリカは第一次世界大戦に参戦する。ウィルソン大統領のもとでアメリカは民主主義・共和主義・自由主義を守る戦いの大義名分を掲げる。ロシアではロシア革命勃発寸前だった。
文化的背景	エマ・ゴールドマンらによる共産主義と女性解放運動の展開、労働者階級の勃興、反戦運動、アメリカでは共産主義に対する脅威が広まる一方で、共産主義によって世の中を改革できると信じたインテリの理想主義者たちがいた。
使用言語	英語、ロシア語
テーマ	20世紀初頭のアメリカにおける自由（政治的信念、性的差別、階級的差別を越えた）への闘い。
みどころ	共産主義運動に共鳴したアメリカのジャーナリストのジョン・リードの波乱に満ちた半生、20世紀初頭のアメリカとロシア革命直前のロシアの対比、20世紀初頭のアメリカにおける共産主義の立場、アメリカの労働運動、女性の権利拡張運動の展開、自由恋愛、エマ・ゴールドマンやユージン・オニールらの著名人の登場、共産主義の理想と現実の乖離。
印象深いせりふ	He was definitely a stirrer-up of people. That was his field. That's what he came to do, apparently. He's well-known amongst a few, but not everybody. They don't know who in heck he is. I look for myself to die any day. He was asked by Lenin, "Are you an American?" He said, "Yes." And Lenin said, "An American American?" And Reed said, "Yes." Of course, nobody goes with the idea of dying. Everybody wants to live. I don't remember his exact words, but the meaning was that grand things are ahead, worth living and worth dying for. He himself said that.
授業教材用 メリット	20世紀激動の歴史がわかる、自由への闘いが描かれている、20世紀初頭のアメリカの共産主義嫌悪の事情が描かれている、長い映画だが恋愛問題やインタビューも挿入しているため退屈しない。
授業教材用 デメリット	上映時間が長い。
映像入手元	パラマウント・ホーム・エンターテイメント・ジャパン
原作の有無	無 ジョン・リードの『世界を震撼させた10日間』が参考文献。
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 94、観客 83）
キーワード	アカ、共産主義、左翼、アナーキスト、ロシア、ボルシェヴィキ、第一次世界大戦、ロシア革命、資本家、労働者、労働組合、女性解放運動、自由恋愛、ジョン・リード、ルイズ・ブライアント、エマ・ゴールドマン、ユージン・オニール、ジャーナリスト、自由への闘い、「世界を震撼させた10日間」。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。